

あそびのプログラム例



A おやこであそぶプログラム

未就園児とその親を対象としたあそびのプログラムです。

- 「紙であそぶ」身近な素材《紙》の音や感触を楽しみます。
- 「えのぐであそぶ」汚れることを気にしないで、ぬるぬる、ベタベタ遊びます。
- 「土であそぶ」こねたり、丸めたり・・・気持ちのいい感触の土の粘土で遊びます。
- 「ヘンシン！であそぶ」《ヘンシン！》をキーワードに、親子で遊びます。
- 「ウゴイテ！あそぶ」身近な材料や道具を使って、思いきりカラダを動かします。
などがあります。

《大人がたのしいと子どもはうれしい》を合言葉に、親子で一緒に遊ぶことで、子どもにとっても大人にとっても新鮮な体験になります。(めやすとなる人数：親子30組程度)



「ウゴイテ！あそぶ」



「えのぐであそぶ」



「紙であそぶ」



「土であそぶ」



「ヘンシン！であそぶ」

B みんなであそぶプログラム

5歳児から小・中学生、大人まで対象にしたあそびのプログラムです。

- 「おみくじであそぶ」今日の遊びは《運》まかせ?! 遊びを決めるのは《くじ》です。
- 「うごく！土のまち」たくさんの粘土を使って、みんなで大きなまちをつくります。
- 「チャレンジマート」《買い物》をテーマにしたチャレンジゲーム。
- 「バトルであそぶ」身体を動かして、チームで対戦して遊びます。
などがあります。

いろいろなあそびのプログラムの中から1つまたは2つを組み合わせることで実施します。
遊びを通して子どもにも大人にも新しい気づきがうまれます。
(プログラムによって、対象人数が異なります)



「おみくじら」



「ボックス・ボックス」



「ボン・パ・ボン」



「うごく！土のまち」



「チャレンジマート」